

1.技 術	4.3 参考資料
2.事 業 名	4.3.12 散水ろ床法
3.キーワード	散水ろ床法
4.目 的	<p>散水ろ床法は間欠的または連続的に下水あるいは工場廃水をろ過材表面に散布し、ろ過材表面に形成された生物膜と接触反応させる固定床による処理法である。</p> <p>ろ過材は $\phi 35\sim 100\text{mm}$ の碎石または砂利を用いる。散水方式には固定式と可動式の 2 形式がある。固定式散水装置は固定した配水管系からノズルによって散水を行うので、大容量処理の広い面積の設備には適さない。</p> <p>また可動式にはガーダ走行式と回転式があり、通常は回転式散水機を用いている。これは固定した中心筒に取り付けた回転式多岐管からなる。この枝管に反動式の散水ノズルを取付けて、散水しながら回転させ、ろ過床全面に散布できるようにしたものである。</p> <p>(参考文献：水道機工のホームページ http://www.suiki.co.jp/hensen/65_74/67_1.htm)</p>